

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第3号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用

はじめに

国際・地域連携センターでは、地域との様々な連携に対する対応をスムーズにするため、部門教員と地域連携課職員が一体となり、チームとして業務を遂行しています。この8月1日付けの人事異動で地域連携課のメンバーに異動があり、顔ぶれが変わりました。知的財産系の宮内主任が研究協力課研究協力係に、産学官連携係の小島さんが総務課法規係に異動し、後任として人事課から知名さん(産学官連携係)、研究協力課から野上さん(知的財産係)が配属されました。また、7月1日に発足した地域連携・再生部門とチームを組む地域連携・再生係には菊川さん(8/1 採用)が新たに投入され、地域との連携業務の更なる発展に向けた取組みが期待されています。

今回、センターを出られた宮内さん、小島さんにはこれまでの諸先輩方と同様に、センターのOB・OGの一員として支援していただきます。強い絆のもと、新たなセンターをよろしくお願ひします。

目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 南海地震最前線 芸西村との連携事業

Topic2. 土佐町出前公開講座が大盛況！

p3 産学官連携部門

Topic1. 競争的資金(JST A-STEP) 最新情報

Topic2. 「大学と地域貢献」をテーマに公開シンポジウム

Topic3. 科学技術で南海地震対策！

p5 知的財産部門

Topic1. 外為法を知らないと国際的研究は危険だらけ

Topic2. 本学附属病院の声でナースステーションが変わる！

p6 国際連携部門

Topic1. 卒業生ネットワークが海外に展開

Topic2. 増やせ留学生！！

Topic 1. 南海地震最前線 芸西村との連携事業 ～芸西村人材研修 防災講演会の開催～

7月14日(木)、芸西村民会館にて、村役場職員及び村民を対象とした防災講演会を開催しました。近い将来予測される南海地震に備えた防災対策が各自治体から求められるなか、本学が有する知的・人的資産を提供することで、地域の大学としての位置づけを強化しようとするものです。芸西村限定の講演会であったにも関わらず、計114名に会場いただき、村の防災意識の高さが伺えました。講師として農学部の大年教授と高知県南海地震対策課の森本チーフに登壇いただきました。講演後、聴衆との意見交換では1時間近く質問攻めに遭っていました。

今回の講演会は、本学と高知銀行との連携協定に基づく人材育成事業の一環でもあり、“学官金”連携としても先駆的な試みです。今回の講演会が村の防災対策に向けた人材育成に繋がるよう、今後も持続的な連携を行っていきます。



Topic 2. 土佐町出前公開講座が大盛況！ ～土佐町から今年度修了生27名誕生！～

6月30日(木)から全5回に渡って開講した土佐町出前公開講座が終了しました。土佐町での講義内容は、地域ブランドづくりからスポーツ指導まで、非常に幅広い分野に及び、延べ受講者176名(実受講者64名)、参加率117%(受講者数/定員)と大盛況で幕を閉じました。講師をお受けいただいた篠名誉教授、沢村特任教授、野地教授、原准教授をはじめ、関係されました皆さま方に、改めてお礼を申し上げます。

3回以上受講された27名には、最終日に受田センター長から修了証書が授与されました。修了生の皆様には、今後、得た知識を糧として地域の活性化のために活動していただくことを期待します。



8月からは中土佐町にて出前公開講座が行われます。全5回の講義内容は、いずれも防災関連です。海に面した中土佐町における需要を反映した内容となりました。講師は農学部の大年教授と原准教授にお願いしております。今や各地域から講演依頼が殺到するなか、講師をお受けいただけたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

Topic 1. 競争的資金(JST A-STEP) 最新情報 ～【FS】探索タイプの結果公開と2次募集の開始～

(独)科学技術振興機構(JST)の研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)平成23年度第1回公募【FS】探索タイプの採択課題が公表されました。高知大学から以下の8件が採択されました。

- | | |
|--|------------------|
| ・排風利用風力発電システムの高効率化 | 理学部門 佐々浩司 教授 |
| ・瞬間的生体内反応を可視化する新規イメージング剤の開発 | 複合領域科学部門 津田正史 教授 |
| ・バイオマス由来のエタノール及びメタノールから有用なアルコール類を製造する触媒変換プロセスの開発 | 複合領域科学部門 恩田歩武 助教 |
| ・膜マイクロドメイン会合分子同定のための EMARS 反応標識試薬の開発 | 基礎医学部門 本家孝一 教授 |
| ・トロンボモジュリン分子がもつ新規な血管内皮細胞保護作用機序の解明 | 臨床医学部門 池添隆之 講師 |
| ・ハダニを利用した土着天敵クロヒョウタンカスミカメ増殖キットの改良 | 農学部門 伊藤 桂 准教授 |
| ・菌床シイタケの品質に影響する糖類の含量を増大させる生産法の開発 | 農学部門 大谷慶人 教授 |
| ・ポリ-γ-グルタミン酸の環境機能材料化と簡易水質浄化技術への応用 | 農学部門 芦内 誠 教授 |

8月1日から A-STEP【FS】の平成23年度第2回公募が開始されております。タイプ毎に公募期間が異なりますので、ご注意ください。

探索タイプ:平成23年8月1日(月)～9月15日(木)正午

シーズ顕在化タイプ、起業検証タイプ:平成23年8月1日(月)～9月20日(火)正午

(詳細:<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>)

Topic 2. 「大学と地域貢献」をテーマに公開シンポジウム ～台風による延期後、日程確定～

本シンポジウムは7月19日(火)に予定していましたが台風6号の影響で中止になり、8月14日(日)に延期されました。以下のメンバーをパネラーに「貢献と連携の『具体化』に向けて」を論点としてパネルディスカッションが行われます。

- ・尾崎正直 高知県知事
- ・吉岡 章 高知市副市長
- ・荻沼一男 高知県立大学 副学長
- ・中田慎介 高知工科大学 地域連携機構 地域連携センター長
- ・受田浩之 高知大学 副学長 国際・地域連携センター長

県内3大学の副学長クラスが揃って高知県知事と高知市副市長と討論する貴重な場です。今後の高知県の方向性をも変えうる内容になるかもしれません。入場無料となっておりますので、多数の方のご参加をお願いいたします。

日時:平成23年8月14日(日)13:00-17:00

会場:高知県立高知追手前高等学校 芸術ホール

<http://www.tosadoyukai.com/symposium20100727.pdf>

Topic 3. 科学技術で南海地震対策！

～JST イノベーションサテライト高知 研究成果報告会～

9月6日(火)にJST イノベーションサテライト高知主催の研究成果報告会が開催されます。このたびの東日本大震災を踏まえつつ、地域の科学技術振興の観点から、以下のようなメッセージを地域に発信することで、地域産業社会の活性化および地域教育基盤の向上に資することを目指しています。

○この国難を如何に乗り越えるべきか？

○われわれ高知県民は、いま何を考え、行動するべきか？

○来るべき南海地震も念頭に置いた、近未来のライフスタイルのありかたは？

特別講演として財団法人国際高等研究所所長の尾池和夫氏（前・京都大学総長）が登壇されます。この他、ポスターセッションでは本学の研究紹介も予定されております。本学も後援しておりますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

JST イノベーションサテライト高知 研究成果報告会
～この国難と未来に向けて、我々は何を考え行動するべきか～

日時：平成23年9月6日(火) 13:30～16:45

会場：高知新阪急ホテル

<http://www.kochi-jst-satellite.jp/forum20110906/index.html>

“知”と“地”の協奏

～JSTイノベーションサテライト高知 研究成果報告会～

この国難と未来に向けて、我々は何を考え行動するべきか

日時 平成23年9月6日(火) 13:30～16:40 場所 高知新阪急ホテル
高知県高知市本町4-2-50

プログラム	
13:30	開会挨拶
13:35	来賓ご挨拶 安全・安心な社会の構築に向けた高知工科大学の取組み 岡村 甫 (高知工科大学 理事長)
13:45	特別講演 未来に向けて - 巨大地震に学ぶ 尾池 和夫 (財団法人国際高等研究所 所長 前・京都大学総長)
14:35	休憩・ポスターセッション・名刺交換会 来るべき南海地震を念頭に置いた、安全・安心に向けた実用化研究の取組みを紹介します。
15:05	育成研究成果報告 森林資源の活用による地域イノベーション創出に向けて ～古紙と未利用木質資源から造った炭の植物栽培床と環境資材の開発～ 坂輪 光弘 (前・高知工科大学地域連携機構 教授)
	光通信の進化が支える近未来のライフライン構築に向けて ～柔軟で高品質な短光ハルス発生器の実用化による信号品質評価技術の開発～ 野中 弘二 (高知工科大学工学部 教授)
16:35	閉会挨拶

入場無料

主催 JST 独立行政法人 科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト高知
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学内C305
Tel.0887-57-4800 Fax.0887-57-4801 E-mail:kochi01@kochi-jst-satellite.jp

後援 高知大学 高知工科大学 高知県立大学 高知工業高等専門学校 四国経済産業局
(予定) 独立行政法人産業技術総合研究所 四国センター 中小企業基盤整備機構 四国支店 高知県 高知県教育委員会 高知市
財団法人高知県産業振興センター 財団法人四国産業・技術振興センター 株式会社テクノネットワーク四国(四国TLO)
四国経済連合会 高知県工業会 高知県商工会連合会 高知県経営者協会 土佐経済同友会
高知新聞社 朝日新聞高知支局 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局 日本経済新聞社高知支局
産経新聞高知支局 RKC高知放送 KUTVテレビ高知 KSSさんさんテレビ NHK高知放送局

Topic 1. 外為法を知らないと国際的研究は危険だらけ ～安全保障貿易管理セミナー開催～

9月16日(金)に群馬大学の伊藤教授をお招きして外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づく「安全保障貿易管理セミナー」を開催します。

外為法とは、特定の貨物の輸出入に当たって経済産業大臣の承認等を要する、とするものです。大学における留学生の受け入れや海外の研究者との共同研究・技術提供などの活動の中にも外為法の規制対象となる場合があります。また、武器や軍事転用可能な物・技術が、国の安全等を脅かす恐れのある国家やテロリスト等に渡ることを防ぐため、外為法により輸出等について管理されています。

国際連携が発展し、人材や技術交流が拡大する一方、大学の研究者等が知らない間に違法行為を犯す危険性も高まってきました。下記のとおり外為法に基づく安全保障貿易管理セミナーを開催しますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

日時:平成23年9月16日(金)13:30～15:00
場所:高知大学メディアホール6階(朝倉地区)
内容:安全保障貿易管理ガイドラインについて(仮称)
講師:伊藤 正実 氏

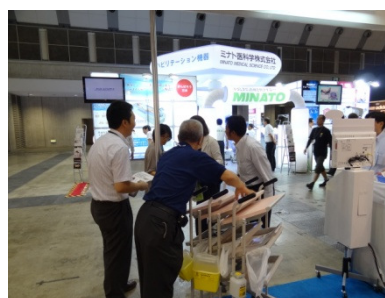
群馬大学 共同研究イノベーションセンター教授、
知的財産戦略室長
NPO 法人産学連携学会会長



Topic 2. 本学附属病院の声でナースステーションが変わる！ ～企業と共同開発したスタッキングカート販売へ～

手狭なナースステーション、窮屈なワーキングスペース、にも関わらずたくさんのカートが部屋面積を占有。このような環境を改善できるスタッキングカート(積重ね式台車)が本学附属病院と(社)高知医療再生機構及び泉(株)で共同開発されました(特許出願中)。本製品は押し込むだけの簡単なスタッキングにより省スペース収納を可能にしています(左下写真)。さらに、設計自由度を高めてPC や定番製品(ゴミ袋や除菌クリーナーなど)のオールインワンも可能です。本製品は本学附属病院の医療現場の声を反映して生まれたため、実用的であり使用者に受け入れられやすいものです。

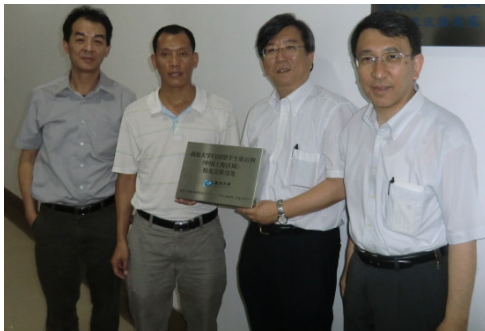
本製品の紹介のため、7月13日～15日に東京ビックサイトにて開催された国際モダンホスピタルショウ2011に展示されました(右下写真)。多くの来訪者から注目と好評を得ており、今後の販売・普及に期待が持たれます。



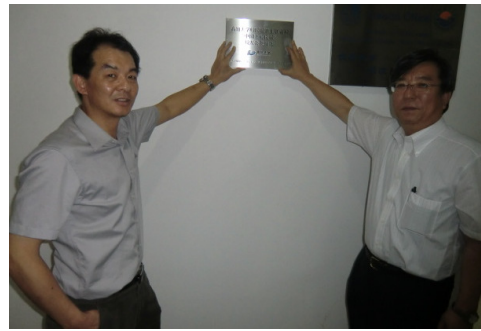
Topic 1. 卒業生ネットワークが海外に展開 ～国外初 同窓会事務所を中国に開設～

平成23年7月4日(月)、岩崎副学長(国際・地域連携担当)、遠藤教育学部長が高知大学帰国留学生ネットワーク(中国上海地域)同窓会会長の鐘俊生上海海洋大学教授を訪問し、同窓会事務所を開設しました。本学の同窓会事務所が国外に開設されるのは今回が初めてであり、本学と海外との一層の連携強化を目指します。

同教授の研究室前への同窓会事務所の看板設置と同窓会名簿の整備をお願いし、今後は国際連携部門と同窓会役員が連携を取りながら活発な同窓会活動を展開していく予定です。



同窓会事務所の看板
(左から鐘教授、事務所書記、岩崎副学長、遠藤学部長)



同窓会事務所の看板設置

Topic 2. 増やせ留学生！！ ～留学希望者に対する説明会開催～

7月20日(朝倉及び岡豊キャンパス)、26日(物部キャンパス)に協定校への交換留学を希望している学生に対し説明会を開催し、交換留学に関する手続き、奨学金及び保険加入等について説明しました。第1部では、国際経験豊かな菊地特任教授による留学中の危機管理についての講義及び先輩学生の留学体験発表が行われ、第2部では、英語圏、中国語圏及び韓国圏の3ブースに分かれて個別相談を実施しました。

朝倉キャンパスでは20名の学生が参加し、熱心に耳を傾けていました。最近の学生は留学意欲が低いと言われておりますので、本説明会をきっかけに留学を決意する学生が生まれることを期待します。



朝倉キャンパスでの説明会の様子



英語圏ブースの様子